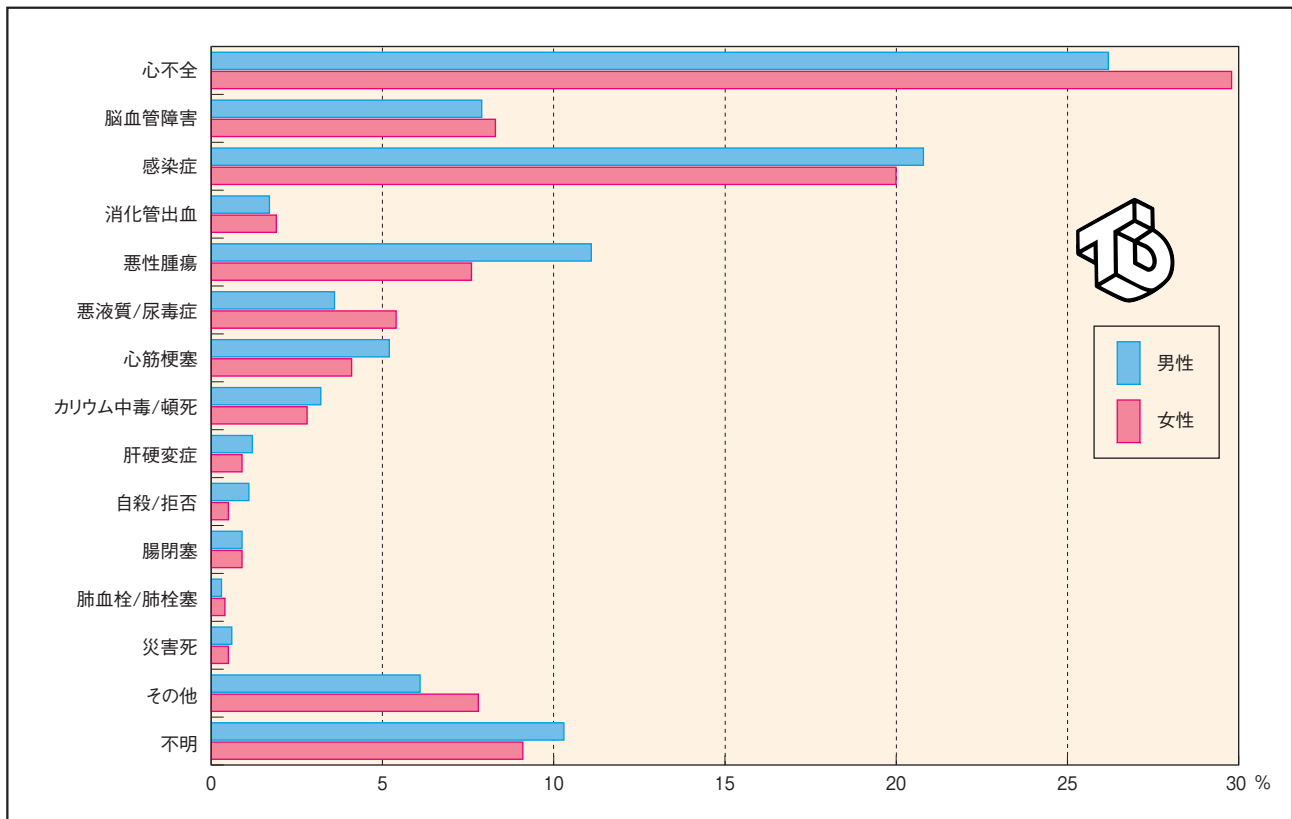


## 5) 死亡原因

(3) 2010年死亡患者の死亡原因分類 (図表18)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計	死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全	4,381	2,839	7,220	0	7,220	自殺/拒否	176	48	224	0	224
(%)	(26.2)	(29.8)	(27.5)		(27.5)	(%)	(1.1)	(0.5)	(0.9)		(0.9)
脳血管障害	1,317	795	2,112	0	2,112	腸閉塞	144	88	232	0	232
(%)	(7.9)	(8.3)	(8.0)		(8.0)	(%)	(0.9)	(0.9)	(0.9)		(0.9)
感染症	3,488	1,901	5,389	0	5,389	肺血栓/肺栓塞	46	34	80	0	80
(%)	(20.8)	(20.0)	(20.5)		(20.5)	(%)	(0.3)	(0.4)	(0.3)		(0.3)
消化管出血	280	184	464	0	464	災害死	98	43	141	0	141
(%)	(1.7)	(1.9)	(1.8)		(1.8)	(%)	(0.6)	(0.5)	(0.5)		(0.5)
悪性腫瘍	1,854	724	2,578	0	2,578	その他	1,023	742	1,765	0	1,765
(%)	(11.1)	(7.6)	(9.8)		(9.8)	(%)	(6.1)	(7.8)	(6.7)		(6.7)
悪液質/尿毒症	597	512	1,109	0	1,109	不明	1,726	871	2,597	0	2,597
(%)	(3.6)	(5.4)	(4.2)		(4.2)	(%)	(10.3)	(9.1)	(9.9)		(9.9)
心筋梗塞	863	395	1,258	0	1,258	合計	16,735	9,527	26,262	0	26,262
(%)	(5.2)	(4.1)	(4.8)		(4.8)	(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)		(100.0)
カリウム中毒/頓死	540	262	802	0	802	記載なし	37	23	60	0	60
(%)	(3.2)	(2.8)	(3.1)		(3.1)	総計	16,772	9,550	26,322	0	26,322
肝硬変症	202	89	291	0	291						
(%)	(1.2)	(0.9)	(1.1)		(1.1)						

患者調査による集計

数値下のかっこ内は列方向の合計に対する%です。

### 解説

年間の死亡者数は透析患者の増加とともに経年的に増加している。2010年では28,423人が死亡し、2009年と比べ777人増加した。患者調査表に死亡原因と性別が記載された26,262人で検討すると、男性では心不全(26.2%)、感染症(20.8%)、悪性腫瘍(11.1%)、不明(10.3%)、脳血管障害(7.9%)の順であった。女性では心不全(29.8%)、感染症(20.0%)、不明(9.1%)、脳血管障害(8.3%)、悪性腫瘍(7.6%)の順であった。全体では心不全(27.5%)、感染症(20.5%)、不明(9.9%)、悪性腫瘍(9.8%)、脳血管障害(8.0%)の順であった。心不全、脳血管障害、心筋梗塞という心血管障害で死亡する割合は三つの疾患の割合を集計すると、女性で42.2%であり、2009年の割合より3.5%増加し、男性では39.3%であり、2009年より4.7%増加した。全体では40.3%と2009年と比較して4.3%増加した。